

鬼北町立広見中学校
道徳通信
道徳主任 酒井 智有
NO. 80
令和8年7月10日発行

よりよく生きる

人権教育強調期間（前期）を終えて

前期の人権教育強調期間が終了しました。各学年が、いろいろな視点から、人権について重点的に学ぶ期間となりました。人権教育強調期間を終えて、生徒の皆さんはいろいろな学びを深めることができました。その学びは、一生を通じて生かされるものだと思います。そして、学んだことを実践していく実践力が、これから求められると感じています。

参観授業では、「相手を思いやること」「違いを認め合うこと」「一人一人を大切にすること」などについて考えていきました。生徒たちは、自分の考えを伝えるだけでなく、友達の意見に耳を傾け、それぞれの感じ方や価値観を尊重しようとする姿勢を見せてくれました。

人権を大切にすることは、一度の授業で簡単に身に付くものではありません。学校生活の中の何気ない言葉や行動、家庭での会話、地域での人との関わりなど、日々の積み重ねによって育まれていきます。また、人権学習に「正解」はありません。大切なのは、自分自身を見つめ、相手の思いを知ろうとする姿勢です。一人一人が「自分も大切、相手も大切」という気持ちを持ち続けられるよう、学校全体で温かい集団づくりに取り組んでいきたいと考えています。

もうすぐ夏休みを迎えます。御家庭でも、「相手の立場になって考えること」「感謝の気持ちを伝えること」「困っている人に声を掛けること」などについて話題にしていいただければ幸いです。学校と家庭が同じ思いで子供たちを支え、誰もが安心して過ごせる学級・学年・学校づくりを進めていきたいと考えています。

今回は、保護者の皆様の御意見もお聞きしたいと思い、下記に保護者の皆様の感想や御意見を書いていただくスペースを設けました。ぜひ、感想や御意見を書いていただき、お子様を通じて学級担任まで御提出ください。よろしくお願いいたします。

・・・・・・・・・・・・・・・・ きりとり ・・・・・・・・・・・・・・・・

人権教育強調期間（前期）を終えて 保護者の感想や御意見

